

再評価結果

担当課：有料道路課
担当課長名：上野 進一郎

事業名 北海道縦貫自動車道（大沼～国縫）	事業区分	高速自動車国道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点 自：北海道茅部郡森町字赤井川 至：北海道山越郡長万部町字国縫			延長	67.2 km
事業概要 北海道縦貫自動車道は、北海道を南北に貫き、道北・道央地域、道南・道央地域の連絡の強化を図り、沿線地域の産業、経済、文化、観光等の発展に資する路線である。				
H 6 年度事業化		H - 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H 9 年度用地着手
全体事業費		約1,362億円	事業進捗率	72 %
計画交通量		4,300～6,400台 / 日		
費用対効果分析結果	B / C (事業体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 608 / 1,741 億円 事業費：312/1,445億円 維持管理費：296/ 296億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 3,237 / 3,237億円 走行時間短縮便益：2,763 / 2,763億円 走行経費減少便益： 356 / 356億円 交通事故減少便益： 118 / 118億円	基準年 平成20年
	(残業) 1.9 5.3			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C = 5.9 (交通量 +10%) B/C = 4.8 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C = 5.1 (事業費 +10%) B/C = 5.6 (事業費 -10%) 事業期間変動 : B/C = 5.4 (事業期間 -1年) B/C = 5.2 (事業期間 +1年)				
事業の効果等 拠点都市間を連絡し、相互の連携が強化される 高度な医療施設までの搬送時間が短縮される 緊急輸送道路が通行止めになった場合の代替路線を形成する 他 13 項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 道南圏と道央圏の連絡は、現在国道 5 号が主に担っていることから、物流・観光・防災への対応などの機能が集中している。国道 5 号への負担解消のためにも、高速道路の早期整備が必要である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 隣接する七飯～大沼間は新直轄区間として整備中。 平成18年11月に八雲～国縫間が開通。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在工事中。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も引き続き工事の推進を図る予定。				
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。				
対応方針		継続事業		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。